

畜産ネットワーク ちば

2014年1月21日

第29号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会

〒260-0021

千葉市中央区新宿1-2-3

K&T千葉ビル3階

発行人 森 英介

年頭のご挨拶



公益社団法人
千葉県畜産協会

会長 森 英介

明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、当畜産協会の各種事業の推進につきまして、深いご理解と多大なるご支援、ご協力を賜っておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、飼料価格は円安等も加わり相変わらずの高止まり状態となり、憂慮されたTPPは参加することが決まるとともに交渉内容・進展にやきもきし、さらに、本年4月からの消費税率アップが進められるなど、これからの畜産経営がより一層厳しくなることを予測される一年となりました。

今後進められる、「減反政策の大幅見直し」「(仮称)養豚農業振興法の制定」「各種振興施策の推進」並びに「TPPにおける聖域の確保」などに積極的に取り組むことで明るい兆しが見えてくるものと期待

するものです。

なお、畜産関係者が諸問題に一丸となって積極的に取り組んできたことは、今後の畜産業界の発展・躍進に大いにつながるものと確信しているところでございます。

当畜産協会は昨年4月に公益社団法人に移行しましたが、引き続き、畜産経営安定対策、県産畜産物の消費拡大の推進、飼養衛生管理・生産性の向上等に努めてまいりました。

本年も、緊迫してきたTPP交渉等の先行きや口蹄疫等の海外悪性伝染病・オーエスキ病等の家畜防疫の諸問題、円レートや飼料価格、消費税率の動向等予断を許さない状況が続き、畜産業界にとって誠に厳しい環境となるものと考えられます。

当畜産協会といたしましては、県民・消費者と生産者、関係団体・行政機関等との密接な連携に努め、安心・安全な県産畜産物が安定的に供給されますよう、これまで以上に取り組んでまいり所存でございます。

そのためには、健全・安定的な協会運営により一層努め、様々な場面で皆様方のお役に立てますよう、役職員一同心掛けてまいり所存でございますので、今後ともご理解・ご支援・ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成26年が皆様方にとりまして、輝かしく夢と希望を抱かせる飛躍の年となりますよう、心よりご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

もくじ

- ・年頭のご挨拶……………(1)
- ・牛海線状脳症(BSE)をめぐる情勢……………(2)
- ・千葉県口蹄疫防疫演習に生産者初参加……………(3)
- ・養鶏研修会の開催……………(3)
- ・第51回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ……………(4)
- ・チバザビーフ協議会報……………(6)
- ・肉用牛損害賠償請求……………(7)
- ・ふれあい体験教室開催……………(7)
- ・畜産機械施設リースのご案内……………(8)

- ・NPC通信(ナイスポークチバ推進協議会)……………(10)
- ・NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信……………(12)
- ・平成25年度千葉県豚共進会……………(13)
- ・平成25年度養豚経営安定対策事業……………(13)
- ・ちば畜産レディースネットワーク会報……………(14)
- ・2013年(第7回)千葉県畜産フェア開催……………(15)
- ・平成25年度「農林水産就業相談会」開かれる……………(16)
- ・肉用牛肥育経営安定特別対策(新マルキン)事業……………(16)
- ・肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業……………(16)

牛海綿状脳症（BSE）をめぐる情勢

千葉県農林水産部畜産課家畜衛生対策室

(1) 第1次答申(平成24年10月)に基づく規制緩和

国内措置の見直しとして、平成25年4月1日から30か月齢以下の扁桃以外の頭部、脊柱及び脊髓をSRMから除外しました。（これらの部位を使用する場合には、と畜場等において30か月齢以下と30か月齢超の牛の分別管理や汚染防止を実施する。）

一方、国境措置の見直しとして、平成25年2月1日からフランス及びオランダからの輸入を再開し、2国に加え米国及びカナダの計4カ国から輸入できる牛の月齢制限を現行の20か月齢以下から、30か月齢以下に引き上げました。（オランダは12か月齢以下）

なお、BSEが発生していないオーストラリア、ニュージーランド等からは通常どおり輸入されていますが、SRMについては輸入自粛指導を行っております。

(2) 第2次答申(平成25年5月)に基づく規制緩和

国内措置の見直しとして、平成25年7月1日から、と畜場における検査対象月齢を48か月齢超に引き上げました。

千葉県においても全頭検査を見直し、平成25年6月28日の千葉県牛海綿状脳症対策本部会議を経て実施となったところです。参考までに、検査対象月齢を48か月齢超に引き上げたことにより、千葉県の同年7月の検査実績は642頭（前年同月1361頭で対前年比47.2%）となり、以降の検査も同様な水準となりました。

なお、死亡牛検査についての変更はなく、24か月齢以上の牛を対象に検査を継続しております。

我が国におけるBSEの発生は、社会問題となり、国民が食の安全に対して関心を持つきっかけとなりました。

このような中、関連法令の整備を進め、生産者及び関係機関の努力により、発生から11年目で「無視できるリスクの国」となりましたが、国民の食の安全に対する信頼確保とこの名誉ある認定を継続していくためには、今後も関係者は努力していかなければなりません。

引き続き皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

我が国における牛海綿状脳症（BSE）の発生は、平成13年9月に本県で初めて確認されてから、最終確認された平成21年1月までに36頭となっています。

また、飼料規制の実施直後の平成14年1月以降に生まれた牛での発生は確認されていません。

これまで、我が国ではBSEについて、次の3つの対策を講じてきました。

第一は、飼料の規制です。飼料として利用してきた肉骨粉等について、すべての国からの輸入、国内における製造・出荷を規制することにより家畜への新たな感染を断ち切りました。

第二は、BSE検査です。と畜場において食肉に供される牛の検査（と畜牛検査）と農場で事故や疾病で死亡した牛の検査（死亡牛検査）を実施して感染牛を摘発してきました。

第三は、特定危険部位（SRM）の除去等です。BSEの原因と考えられているプリオンが蓄積しやすい部位を、と畜段階で除去し食品として流通させないこととしました。

これらの対策を徹底してきたことにより、日本におけるBSE発生のリスクが低くなり、平成25年にはBSEに関して大きな動きがありました。

1 OIE(国際獣疫事務局)によるBSEステータスで「無視できるリスクの国」として認定

OIEは、加盟国のBSE発生リスクを科学的に3段階に分類しており、今まで日本は「管理されたリスクの国」でしたが、有効な対策を講じてきたことからステータスが最上位の「無視できるリスクの国」として平成25年5月に認定されました。

実質的には、BSE清浄国として認定されたことになります。



2 食品安全委員会からの答申に基づく規制の見直し

厚生労働省は、平成23年12月に食品安全委員会へBSEに関する国内及び国境措置の見直しについて諮問を行い、平成24年10月及び平成25年5月の2回にわたり答申があり、規制が緩和となりました。



わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>



千葉県口蹄疫防疫演習に生産者初参加

自衛防疫活動の一環として、千葉県農林水産部畜産課が主催する「千葉県口蹄疫防疫演習」に共催し、初動防疫活動に携わる県職員等の防疫訓練に加えて、生産者自らが発生時の防疫措置を学び、理解を深めるとともに、万一の発生に際して機敏に対応できる態勢を構築し、急性・悪性伝染病の発生に備えることを目的に、今回初めて生産者が防疫演習に参加した。（事務局長 榛葉）

<防疫演習概要>

- (1) 演習日時及び場所：10月30日（水）午前9時～ 千葉家畜市場（千葉市若葉区）
- (2) 参加者：県関係機関、市町村、関係団体等総勢198名、うち生産者等参加者25名
- (3) 演習内容

① 牛（繁殖和牛）を用いた口蹄疫病性鑑定デモンストレーション

牛を観察しながら口蹄疫特定症状と発現部位（舌、口内、蹄部、乳頭等）等病性鑑定の解説、診断の有力な決め手となる写真撮影等を学習する。

② 口蹄疫の発生を想定した家畜市場における模擬防疫作業

防疫作業従事者の健康チェック、防護服の着脱等を仮設テントで実習、次いで患畜殺処分終了後に行う清掃・消毒作業を家畜係留所等で実習、加えて防疫作業中の傷病者救護（デモンストレーション）を学習する。

<演習評価>

演習終了後に行った生産者アンケート調査結果から（22名）、発生時の初動防疫活動に対する生産者の関心は高く、防疫演習に参加することにより防疫作業従事者への理解も深まり、従前にも増して防疫意識が高まることが推察された。

アンケート項目	よく理解できた	概ね理解できた	難しかった
①口蹄疫の特定症状は	14（63％）	7（32％）	1（5％）
②発生時の病性鑑定は	11（50％）	9（41％）	2（9％）
③発生時の農家対応は	14（63％）	6（27％）	2（9％）
④畜産清掃・消毒は	10（45％）	8（36％）	4（18％）
⑤演習全体の評価は	大変良かった19（87％）	適当2（9％）	物足りなかった1（5％）



（防護服の着用）



（口蹄疫特定症状・舌の観察）



（畜舎の除糞・清掃）

養鶏研修会の開催

毎年恒例の養鶏研修会が11月12日（火）、千葉市生涯学習センター2階ホールで養鶏生産者等127名が出席し開催された。研修講演は2題で高病原性鳥インフルエンザの流行期に備え、侵入防止対策と併せ、発生農場が早期に経営再開に成功した事例について、三重県南勢家畜保健衛生所・林義規課長から講演を頂くとともに、鶏卵消費が伸び悩み傾向にある中、消費者視点で「モノ発想」から「コト発想」でたまごの価値を伝えと題してケーオーアップ株式会社・大槻祐二部長から講演を頂いた。（事務局長 榛葉）



（林先生の講演）



（大槻先生の講演）



（養鶏生産者等出席者）

第51回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ

千葉県農林水産技術推進会議畜産部会主催の、試験研究成果発表会が開催されます。

参加は無料で、事前の申し込みも必要ありません。開催日時、場所、課題名等は下記の通りです。

お誘い合わせの上、多数のご来場をお待ち申し上げます。(畜産総合研究センター)

< 酪農・肉牛部門 >

日 時：平成26年2月20日(木) 10時～14時

場 所：さんぶの森文化ホール(さんぶの森公園内)

山武市埴谷1904-5(TEL:0475-80-9700)

□県南地域における暖地型シバ型牧草を用いた草地造成技術の確立

(畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 行川貴浩)

県南部の放牧地に適する暖地型のシバ型牧草種と導入方法を検討した結果、草種はセンチピードグラスとパヒアグラスが、導入方法は両草種ともに蹄耕法が適すると判明した。

□和牛肥育の飼育直し期における粗蛋白水準について

(畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 小林正和)

飼育直し期間(肥育前期)に給与する配合飼料の粗蛋白水準を2水準(CP13.9%と18.5%)として比較したが、粗蛋白含量を高めた効果はみられなかった。

□黒毛和種去勢牛に対する粃米ソフトグレインサイレージ給与の影響

(畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 小山祐介)

黒毛和種去勢牛に給与する配合飼料の40%を粃米ソフトグレインサイレージに代替する場合、粃穀相当量の粗飼料割合を減らして給与飼料中TDNを低下させないことが必要である。

□飼料中NDF水準と機能性物質の給与が乳牛の乳生産性や繁殖性に及ぼす影響

(畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 川嶋賢二)

分娩後に配合飼料を多給すると乳量は高まるが、第一胃内エンドトキシン濃度の上昇など負の影響も見られる。ラクトフェリンは配合飼料多給の悪影響を緩和する可能性がある。

□外国人技能実習生への搾乳衛生指導の取組みとその成果 (北部家畜保健衛生所 衛生指導課 関谷 圭美)

外国人技能実習生がいる酪農家で乳房炎が多発した。言葉等の問題で飼養衛生に問題が生じている状況を打開するためポスターを制作し指導にあたったので、その概要を報告する。

□飼料イネ専用品種の収穫時期別収量性と消化性 (畜産総合研究センター 企画環境研究室 名取美貴)

県内で稲発酵粗飼料の早刈りが増加している状況を踏まえ、主要な飼料専用品種5品種について出穂から10日ごとに収量性と消化性を調査・分析したので紹介する。

□糊熟期に収穫した稲WCSでも黄熟期と変わらない乳生産が可能 (畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 村田美里)

TMR中のイネ科乾草の半量を熟期の異なる稲WCS(糊熟期・黄熟期)に置き換え、泌乳牛に給与して採食性・乳生産に及ぼす影響を検証した。

< 養豚部門 >

日 時：平成26年2月19日(水) 10時～12時

場 所：印旛合同庁舎2階大会議室(印旛農業事務所隣)

佐倉市鎭木仲田町8-1(TEL:043-483-1128)

※駐車場に限りがありますので、電車を利用するかお車の場合は乗り合わせての来場をお願いします。

□畜産排水の低コスト脱色技術の開発 (畜産総合研究センター 企画環境研究室 長谷川肇明)

汚水浄化処理水に非晶質ケイ酸カルシウム水和物(CSH)を用いることで、脱色と同時に消毒を行い、さらには排水中のリンを回収して肥料化する処理システムを開発した。

□家畜排せつ物のセメント製造燃料利用技術 (畜産総合研究センター 企画環境研究室 杉本清美)

セメント製造用の燃料に使用できる堆肥があるか県内養豚堆肥を調査したところ、ふん尿を混合・分離後に副資材を使用して縦型密閉コンポスト処理をした堆肥が燃料用堆肥として適合した。

□ランドレース種の系統造成試験(第4世代) (畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 新垣裕子)

H20年度よりボウソウL3の後継豚として、繁殖性・産肉性が高く、肢蹄の強健な種豚の改良に着手した。今年度は、第4世代豚の生産を行ったのでその成績について報告する。



□系統豚の組合せ検定試験（第1報）（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 高橋圭二）

平成26年度に3週時1腹総体重、発育性等を改良したL種の系統豚が完成予定である。

そこで、これらの能力を活かすことのできる、W種、D種について組合せ検定を実施した。

□子宮内部注入法による豚人工授精法とそのコスト低減効果

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 細野真司）

子宮内部注入用カテーテルを用いた人工授精の受胎率および分娩成績を調査し、さらに費用を試算したところ、人工授精にかかるコスト低減が見込まれた。

□管内一養豚場で流産の発生が増加した事例（北部家畜保健衛生所 防疫課 平野 亨）

管内養豚農場で春に流産が増加し、胎子から細菌が分離。一旦落ち着くも秋口より流産が相次いだ。胎児から再び細菌が分離され、流産要因について検討したが解明には至らなかった。

※引き続き同会場にて千葉県畜産協会主催の養豚大会が行われます。

< 養鶏部門 >

日 時：平成26年2月6日（木）10時30分～13時50分

場 所：成田国際文化会館

成田市土屋303（TEL：0476-23-1331）

□採卵鶏における省エネルギー電球の利用

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 八木 健）

白熱電球の代わりに電球色LED電球や昼光色LED電球を用いて、採卵鶏の光線管理を実施することによって、産卵成績、卵質を低下させずに電力料金の節減が図れた。

□ブロイラーにおける粃米給与技術の開発

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 伊藤香葉）

粃米によりトウモロコシの全量を代替するため、粉碎粃を用い、油脂添加量を6%に抑えた飼料で給与試験を行ったところ、良好な発育成績が得られた。

□酵素剤が飼料の利用効率に及ぼす効果の検証

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 青木大輔）

飼料の効率的利用のため、低栄養飼料に酵素剤を添加し、産卵初期の鶏に給与試験を行ったところ、飼料費の節減が図れた。

□青殻卵の品質に関する調査（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 伊藤香葉）

アローカナ交雑鶏が産出した卵の食品としての特徴を調査したところ、起泡性に優れており、シフォンケーキにすると食感が硬く、噛み応えがあることが示された。

□ワクチン接種高齢採卵鶏に発生した皮膚型鶏痘

（南部家畜保健衛生所 防疫課 小形 次人）

管内養鶏場の鶏痘ワクチン接種高齢採卵鶏において皮膚型鶏痘の発生が認められた。そこで同疾病の発生要因の究明および対策指導を行ったのでその概要を報告する。

□採卵鶏農場に発生したロイコチトゾーン病

（東部家畜保健衛生所 防疫課 渡部 美穂子）

2012年に、採卵鶏農場で死亡羽数の急増を伴うロイコチトゾーン病が発生した。鶏舎内温度及び産卵率の推移等の調査を実施し重篤化の原因について考察したので概要を報告する。

□採卵鶏主要銘柄経済性能比較調査（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 八木 健）

養鶏農家のひな導入時の参考とすることを目的に、県内で飼養されている主な採卵鶏について、育成成績、産卵諸性能、卵質、糞中水分含量などを調査した。

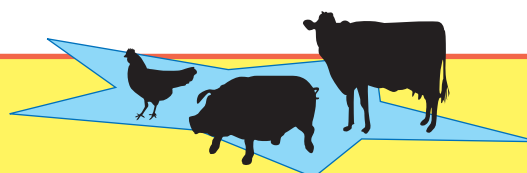


お問い合わせ先

千葉県畜産総合研究センター

〒289-1113 八街市八街へ16-1 電話：043-445-4511 F A X：043-445-5447

<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/>





チバザビーフ協議会報

チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。



1 「チバザビーフ協議会」入会のご案内

チバザビーフ協議会では、県産牛肉の知名度向上のために、市場及び買参人に対してPR活動を展開し、県産牛肉の有利販売及び販売促進活動を行っています。

加えて、県産牛肉の技術向上及び生産力強化を図るため、東京食肉市場まつり並びに記念共励会の参加を目指すとしました。

今後は定期的に年3回の研究会と 共励会の開催を予定しており、県内全ての肉牛生産者が一丸となって県産牛肉のおいしさをPRしていくことが大切と考えております。

つきましては、この機会にぜひとも入会し、東京食肉市場まつり記念共励会に参加していただきたく、ご案内申し上げます。

なお、加入された場合、チバザビーフのロゴマークが商品や冊子等に使用できます。

※会費については、徴収する予定ですが、金額については今後の総会にて決めます。

【参考】「東京食肉市場まつり」とは？

- (1) 毎年10月土日の2日間、東京食肉市場で、1つの協賛県とタイアップして、牛肉の一斉販売を行います。(2日間来場者約25,000人)
- (2) 協賛県は団体等と実行委員会を組織して参画し、農林水産物の販売や観光PRを実施します。
- (3) 販売される県産牛肉は、まつり2～3週間前に開催される記念共励会で調達されます。



開催年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	
協賛県	茨城県	岩手県	山形県	島根県	千葉県
銘柄牛	常陸牛	いわて牛	やまがたの牛	しまね和牛	チバザビーフ

◎開催企画例

- ① 記念共励会に出品したチバザビーフの試食販売
- ② 飲食物試食（モツ煮、トンカツ、豚しゃぶ）
- ③ 一般販売店（皮製品、パン等）
- ④ ステージ（クイズ、キャラクターショー等）
- ⑤ フリーマーケット
- ⑥ お買い上げ抽選会
- ⑦ 県産農林水産物の販売
- ⑧ 観光PR（郷土芸能、特産品販売等）

2 第1回チバザビーフ枝肉研究会開催

平成25年11月27日、東京食肉市場（株）に於いて第1回チバザビーフ枝肉研究会が開催されました。

研究会には黒毛和牛22頭・交雑種25頭の出品があり、和牛の部では宮澤農産出品の宮澤和牛が、交雑の部では土佐英樹さん出品のナイスビーフがそれぞれ最優秀賞を受賞されています。

今後は年1回の共励会と年2回の研究会を開催し、千葉県産肉牛の品質及び知名度の向上を図っていきます。



チバザビーフ協議会(事務局:公益社団法人千葉県畜産協会)

担当:企画課 大崎、小倉 TEL 043-242-6333 FAX 043-238-1255

肉用牛損害賠償請求

肉用牛損害賠償逸失利益分の請求終了!!!

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会 会長 山崎 巖

平成25年10月21日に行った第10次肉用牛損害賠償請求をもって、肉用牛の逸失利益分の賠償請求が終わりましたので、お知らせいたします。

また、第10次までの支払いが完了しましたので、併せてお知らせいたします（表参照）。

なお、検査費用については、平成25年9月1日以降も当面の間支払われることになっています。平成26年1月下旬に開催する役員会において、請求方法、請求期間、請求時期等が決まりましたら、速やかにご案内いたしますので、準備をお願いいたします。（事務局 武田）

	区分	請求対象期間	補償金額	最終支払日
確定済	第7次	平成24年10月～12月	110,045千円	平成25年11月11日
	第8次	平成25年1月～3月	55,088千円	平成25年11月18日
	第9次	平成25年4月～6月	27,847千円	平成25年12月12日
	第10次	平成25年7月～8月	8,542千円	平成26年1月8日

支援団体

千葉県家畜商協同組合、千葉県肉牛生産農業協同組合、千葉県配合飼料価格安定基金協会
[千葉県全日本畜産経営者協会]、社団法人千葉県農業協会（肉用牛部会）、株式会社千葉県食肉公社、
横芝光町（東陽食肉センター）、県南畜産処理事業協同組合（南総食肉センター）

お問い合わせ先

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会（事務局：公益社団法人 千葉県畜産協会）
担当：山田・新城・武田 TEL:043(241)1738 FAX:043(238)1255

☆ふれあい体験教室開催☆

協会の単独事業として消費者に畜産の現状や果たしている役割、県産畜産物に対する理解促進のため各関係団体の協力のもと、今年度も実施いたしました。

【千葉県立北総花の丘公園（平成25年9月8日）】



花の丘公園から近隣小学校にパンフレットを配布いただき親子ウインナー教室を開催しました。15組の参加者はおいしく出来上がったウインナーに満足していました。

ウインナー作りの後は、協会から県内の畜産状況や豚についてクイズ方式で説明し、牛乳普及協会から手作りゼリーの試食品の提供がありました。

また、室外では房総ポークの生産者による、しゃぶしゃぶの試食販売が行われ、チバザポーク（房総ポーク）の取組状況を消費者にPRの場となりました。

【千葉市ふるさと農園（平成25年9月25日）・千葉市白井公民館（平成25年11月15日）】

JA千葉みらい女性部の活動でウインナー作り体験を実施しました。

苦戦をしながらも、楽しそうにウインナー作りに挑戦しており、体験後の交流会では畜産の現状について、県内銘柄豚について、チバザビーフについて、牛乳パックの見分け方について、ウインナーとフランクの違いについて、偽装問題の成形肉について等説明。女性部の方も意外と知らないことが多く、活発な交流会となりました。

今後も親子体験も含め千葉の畜産のPRの場としたいと思います。（企画課 大崎）



次代へつなぐ子供達の為にも安全な精肉を

CHEF MEAT CHIGUSA Co.,Ltd

株式会社シェフミートチグサ

〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町210-5
TEL: 043-259-3705 URL: www.chefmeat.co.jp/

酪農、肉牛、養鶏、養豚、ふれあい牧場などの事業を行っている皆様へ

畜産機械施設リースのご案内

リースの特徴・仕組

経営資金が有効に使えます

機械施設の導入時に多額の購入資金を必要としないので大切な資金を有効に活かすことができます。

また、貸付利子はリース残高の 1.0 % (年) で、有利です。

導入する機械施設、 購入業者が選べます

リース物件は、農家が自由に選定でき、購入価格も業者と交渉して決めていただきます。

リース物件は、リース終了後は 自分のものになります

リース期間が終わったら、購入価格の 100 分の 10 の額に消費税相当額を加えた額でリースを受けた方に譲渡されます。

リース期間中は、偶発的事故の 損害が補償されます

リース機械施設は割安な掛金で損害保険 (動産総合保険) に一括加入されるので、リース期間中の火災・落雷・盗難等偶発的な事故による損害が補償されます。

農家には農業協同組合を通じて リースされます

リース物件は、農家を選んだ業者から当協会が購入し、農業協同組合にリースします。農家は、この農業協同組合から再リースされます。

特認貸付けもできます

リース可能な機械施設は別表のとおりですが、これ以外でも農林水産省生産局長の承認を受けてリースすることができます。本措置を利用して、ふれあい牧場のアイスクリーム・チーズ製造用機械、動物用ケージ、ベンチ、簡易牧柵などのリースが可能です。詳しくは当協会にご相談ください。

リース期間の短縮・延長ができます

農家の要望によって、例えば法定耐用年数 7 年の機械の貸付けにおいて、通常のリース期間 6 年を 4 年から 9 年の範囲で変更することができます。

中古機械もリースします。

草地造成や自給飼料生産用の機械施設で一定の基準を満たし、法定耐用年数の残存期間が 3 年以上あれば、中古機械もリースの対象となります。

信用保険にも加入 (任意) できます

当協会から畜産施設リースを受けている農家の方が、いろいろな事情で経営が破たんし、リース料を納入できなくなって保険事故と認定された場合に、保険会社が代わりに保険金として支払う制度です。

- (概要)
- 1 対象となる機械施設は畜産機械施設で、保険期間は開始から最長 7 年間です。
(ただし、加入時において赤字経営の方は対象から外れます。)
 - 2 保険料はリース料残高の (残債) の 0.5 % です。保険金の上限を 500 万円としていることから、1 年間の保険料は最大で 25,000 円となります。
 - 3 一旦この保険に加入すると、次回以降のリース機械はすべて保険に加入することとなります。
ただし、複数の機械が対象となっても、保険金の上限は 500 万円です。

随時、迅速に貸付けします

当協会のリース申請は、随時、受け付けており、貸付契約も迅速な処理で、農家が必要な時に早急な機械施設の整備が可能です。

リース料の支払い例

例 (リース期間9年)リース機械価格100万円(消費税抜)貸付開始4月1日の場合

(単位:円)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	譲渡価格	合計
リース料	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,000,000
消費税	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	80,000
利子	9,750	8,750	7,750	6,750	5,750	4,750	3,750	2,750	1,750	-	51,750
保険料	15,580	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,580
年間支払合計額	133,330	116,750	115,750	114,750	113,750	112,750	111,750	110,750	109,750	103,000	1,147,330

例 (リース期間6年)リース機械価格100万円(消費税抜)貸付開始4月1日の場合

(単位:円)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	譲渡価格	合計
リース料	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	100,000	1,000,000
消費税	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	8,000	80,000
利子	9,625	8,125	6,625	5,125	3,625	2,125	-	35,250
保険料	10,550	-	-	-	-	-	-	10,550
年間支払合計額	182,175	170,125	168,625	167,125	165,625	164,125	108,000	1,125,800

注1:年間支払い合計額は、毎年、3月末と9月末の2回に分けて支払っていただきます。

注2:保険料(動産総合保険)は、この機械が自給飼料用・据付固定型の機械の場合で、機械の種類等によって若干異なります。支払いの時期は第1回目のリース料の支払いと同時です。

注3:このほか、このリースを扱う農協等の事務手数料がかかる場合があります。

注4:中古機械のリース料についても上表に準じて適用されます。また、損害保険の対象にもなります。

注5:消費税については、引渡し時の税率が最終譲渡時まで適用されます。

主なリース機械と期間

貸付機械施設名	主要なリース機械			リース期間	
自給飼料生産 利用機械施設	トラクター ロータリー バキュームカー モアコンディショナー フロントローダー カッター フォレージハーベスター レーキ類	ラッピングマシン ロールカッター ロールペーラー ベールディストリビューター テグダー類 飼料攪拌機 マニアスプレッダー 播種機	ホイールローダー コーンハーベスター 自動給餌機 ヘイベイラー コーンプランター ワゴン類 ディスクモア等モア類 FRPサイロ	6 年	
	ダンプカー			5 年	
搾乳施設	パイプラインミルク	ミルクパーラー	搾乳ロボット	搾乳ユニット自動搬送装置	6 年
生乳冷却貯蔵施設	バルククーラー	プレートクーラー			6 年
生乳検査機械	生乳成分測定器				6 年
精液保管等施設	凍結精液保管器 液体窒素保管器	精液輸送車（特殊自動車の場合は 5 年） 補給器			6 年
畜舎環境改善 機械施設	消毒機 細霧装置	消毒用自動車（特殊自動車の場合は 5 年） 節電装置	哺育器	通風装置	6 年
中小家畜管理機械施設	自動給餌器	豚分娩ゲージ	鶏舎用カーテン巻上げ機		6 年
特認機械施設	検査分析機器	孵卵器	アイスクリーム製造機（従前の貸付例）		

リース期間は、要望により、上表の6年のものは4年から9年、同5年のものは2年から4年にすることができます。

この表は、リースしている機械の一部です。この表以外にもリースできる機械はたくさんあります。

詳しいお問い合わせは・・・

(公社)千葉県畜産協会、お近くの農業協同組合又は(財)畜産近代化リース協会までご連絡下さい。

((公財)畜産近代化リース協会

TEL:03-3584-0899

FAX:03-3584-0758

((公社)千葉県畜産協会 事業部 担当:山田

TEL:043-241-1738

FAX:043-238-1255



N P C 通信

ナイスポークチバ推進協議会



1 「第37回千葉市民産業まつり」に出展参加

中断していた千葉市民産業まつりは、3年ぶりに実行委員会の主催により、従来の千葉市中央卸売市場から、千葉ポートパーク及び周辺広場に会場を移し、第37回千葉市民産業まつり（千葉湊大漁まつり）として平成25年10月13日（日）開催されました。



開催の目的は、千葉市内外からの来場者に対し、千葉県及び千葉市の豊かな食、特産品、文化などのPRや多彩な催しを展開することにより、地域の魅力や価値の向上、地産地消の推進、地域産業の振興、集客交流の拡大をはかるための観光イベントを展開するとあります。

ナイスポークチバ推進協議会は過去連続出展し、千葉県産豚肉のPRを重ねていたことから、厳しい日程の中、急遽参加を決め出展いたしました。

秋晴れの好天に恵まれ主催者発表で約4万人の来場者でにぎわいました。

出展は、販売の焼肉、加工品ブースとアンケート・クイズなどの情報提供ブースを確保し、千葉県の豚肉と養豚をPRしました。



2 第7回『俺たちの豚肉を食ってくれ2013』盛大に開催

一般社団法人日本養豚協会（JPPA）青年部が中心となり、第7回「俺たちの豚肉を食ってくれ2013」は平成25年11月9～10日、比谷公園にれの木広場を会場とし、今年も『ファーマーズ&キッズフェスタ2013』に出展参加して開催されました。

2日間延べ267人の生産者と関係者が参加し、全国から提供された銘柄豚肉300kgで、しゃぶしゃぶ・焼肉の試食配布を通じて、来場された58,000人の消費者に国産豚肉をPRいたしました。今回千葉県から、勝浦市所在・椎名畜産の銘柄「なるかポーク」が提供され、ステージでのプレゼンでは千葉県産をアピールし会場を大いに盛り上げました。

その他、会場では子豚とのふれあいコーナー、ホットドッグ早食い競争、子供限定じゃんけん大会、〇×クイズ、ブタの鳴き声物まね長さ大会、アンケート調査など盛りだくさんの企画により、消費者との交流する時間を確保しながら国産豚肉をPRいたしました。

日比谷公園での開催も4回目となり来場者も多く、認知度が上がった「俺豚イベント」定着を感じる2日間でありました。



3 平成25年活動報告会盛大に開催



恒例の活動報告会は平成25年12月9日（月）千葉市内京成ホテルミラマーレにおいて開催されました。消費者を意識した今回の特別講演は、16階のスカイバンケットにおいて講師に吉村 昇洋氏（曹洞宗八屋山普門寺副住職・心理カウンセラー）を迎え『気にしなければラクになる』と題し開催。会場には予定を超える149名が参加し、ストレス社会の中で問題となる「とらわれ」をどのように扱い、くつろいで気が楽になるか、禅とは、精進料理、等を交えて話され、「今この瞬間を丁寧に生きることが大切である」と話されました。

報告会は6階ローズルームにおいて来賓、賛助会員、生産者会員他243名が参加し開催されました。協議会平野拓歩会長の御礼挨拶のあと、（公社）千葉県畜産協会会長森英介衆議院議員、河上 茂県議会議員、県議会自民党畜産振興議員連盟伊藤 勲会長、県農林水産部麻生 恵部長、（一社）日本養豚協会倉本寿夫専務理事から来賓のご挨拶を頂きました。





スライドによる活動報告、畜産議連石橋幹事長の乾杯のご発声により、懇談（情報交換）に入りました。県産2銘柄の豚しゃぶしゃぶ・ダイヤモンドポークのももハム、房総ポークCの加工品など豚肉料理を囲んで消費者との交流、関係者との情報交換で会場は盛り上がりしました。

今回、千葉県の畜産後継者を中心につくられたガールズユニットが特別出演。酪農や養豚に携わる女性3人と消費者4人が混ざったダンスグループ「CowMix」。合言葉は『白黒つけるぜ！CowMix』とTPPに負けない畜産女子の熱い思いを歌にした歌声で会場は厚い熱気と化し、大いに盛り上がりしました。また、今回多くのサポーター会員とその仲間の消費者47名の参加を得て、恒例となった消費者との交流会をステージで開催し千葉の養豚（国産豚肉）の応援団としての活動をお願いいたしました。

会を締めるに際し、高橋秀樹副会長から生産者が目指す方針を決議文として朗読。平野会長から解説し出席者全員で決議されました。

- ・国民の食生活の安定と地域経済を支え、循環型社会の形成に寄与する重要な養豚農業を目指します。
- ・生産者自ら意識して、国産豚肉のPRと、より高い信頼を得るため、豚トレーサビリティを推進します。

4 自民党畜産・酪農対策小委員会開催

《養豚農業振興法案（条文案）承認される》

平成25年12月12日（木）東京永田町の自民党本部において畜産・酪農対策小委員会が開催されました。野村 哲郎委員長から開会挨拶、中谷 農林水産戦略調査会長、齋藤 農林部会長からそれぞれ来賓挨拶がありました。それを受け、自民党養豚議員懇話会 大島 理森会長から「議事である養豚農業振興法案についてよろしくお願ひしたい」と挨拶。

議事として提出された養豚農業振興法案（条文案）について養豚議員懇話会 葉梨事務局長から説明があり、質疑応答では振興法案応援の意見が多く出され、「養豚農業振興法（条文案）」が承認されました。



大島理森自民党
養豚議員懇話会会長



葉梨康弘養豚議員
懇話会事務局長



自民党国会議員の先生方を囲んでJPPA役員
（自民党本部応接室）

《養豚農業振興法（条文案）項目》

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 第1:目的 | 第2:定義 |
| 第3:基本方針 | 第4:養豚経営の安定 |
| 第5:国内由来飼料の利用の増進 | 第6:豚の飼養衛生管理の高度化 |
| 第7:安全で安心して流通することができる豚肉の生産の促進及び消費の拡大 | |
| 第8:豚肉の流通の合理化 | 第9:援助 |

《JPPA志澤会長のコメント》

念願の『養豚農業振興法案』がようやく自民党畜酪小委で了承され、党内の手続きを経て年明けの通常国会に法案提出される運びとなりました。

減反政策の廃止という歴史的な農政の大転換のなかで、図らずも、養豚が飼料用米の受け皿として稲作農家を支援し、水田・国土保全に大きな役割を果たすことができる状況に重なりました。農業に欠くことのできない重要な部門として養豚が発展していくなかでは、我々に託された仕事を着実にこなしていくことがこれまで以上に重要になってきます。

そんな新たな役割を受けて立つ使命感を業界全体で共有しながら、皆さんと共に頑張っていきたいと思います。

5 2014年・森田知事へ年頭挨拶

穏やかに新年を迎えた平成26年の新年、今年もナイスポークチバ推進協議会役員8名で森田健作知事を訪問し年頭挨拶をいたしました。

今回、豚の「ぬいぐるみ」を持参し、知事と記念の写真を撮って頂きました。知事室に飾って頂き、時々見て養豚を考えていただければ幸いです。（事務局 加藤）



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

理 事 会

平成25年11月12日（火）千葉市生涯学習センター研修室に於いて、公益社団法人千葉県畜産協会新城専務の来賓のもとに第5回理事会が開催されました。

1. 平成 2 5 年度事業進捗状況

①食の安全・消費者信頼確保対策事業（家畜生産農場清浄化支援対策事業）

農場における飼養衛生管理基準遵守の重要性への理解が深まりました。

今後とも一層家畜保健衛生所との連携を深め円滑な推進を実施する等の経過報告がありました。

②農場 HACCP 推進指導事業（中央畜産会及び千葉県畜産協会単独事業）

本事業の活動については、畜産協会の委託を受け、現在、推進4農場、認証6農場を10人の指導員が中心となり構築に取り組んでおり、今年度中に2農場が構築を終了して中央畜産会へ申請書を提出する予定との順調な推進状況報告がありました。

③公募事業の6次産業化ネットワーク活動交付金（推進事業）実施計画について

当初は豚肉、養蜂、チーズの3ネットワークの構築を検討しましたが、豚肉については時間的に詳細な計画を取りまとめることができず平成26年度の実施に向けて取り組むことに、チーズについては事業に乗せて実施するほどの希望者がいない等を理事会で協議し、最終的には養蜂が本事業に取り組むこととして、実施計画書を提出することとなりました。

2. 各部会の活動

衛生環境部会は上記①②の事業を中心として実施、企画部会は上記③を中心として取り組んでいます。

生産振興部会、調査研究部会はア）「畜産技術701号2013. 10」掲載記事（公益社団法人畜産技術協会月刊誌）特集生産コスト低減を目指した酪農の新しい生産技術「河川堤防刈草を有効利用した乳用牛発酵TMR資料の利用技術」（12～17ページ）エコグループ市原と当NPOが共同で実施した調査研究（平成22～24年度）の報告書の概要が掲載、イ）エコフィード関係：エコフィード研修会に3名の調査委員参加、ウ）発酵TMR関係：発酵TMRの生産に係る調査について、公益社団法人千葉県畜産協会の依頼で参加を予定（市原市等）していく等の報告がありました。

◎入会申込みや畜産に関する
ご相談等をお待ちしております。
NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局
（（公社）千葉県畜産協会内）
TEL:043-241-1738 FAX:043-238-1255
正会員 78（内、団体10）・賛助会員 2（団体）

平成 2 5 年度事業実施状況

1. 農場 HACCP 指導員・審査員への派遣及び HACCP 推進農場等への指導

千葉県内の農場 HACCP の推進を図るため、会員多数の御理解・御協力を得て、中央畜産会主催の農場 HACCP 指導員研修会へ、今年度は会員2名を派遣することになりました。お陰で千葉県内農場 HACCP 指導体制がより一層充実することができました。現在、当NPO会員の10名が農場 HACCP 推進の指導に取り組んでいます。農場 HACCP 補助事業は千葉県畜産協会単独事業の他、新たに今年度から中央畜産会では農場 HACCP の指導事業が創設され、全国規模で農場 HACCP の推進に取り組むこととなりました。千葉県は6農場を指導することとなり、当NPOが取り組んでいます。

今年度の農場 HACCP 推進農場指定及び推進状況は以下のとおりです。

①指定申請	②指導中
豚1件、鶏1件	牛 1 件、豚3件、採卵鶏3件、豚認証モデル1件 (2月申請予定)

2. 農場飼養衛生管理強化対策事業(公募)の推進状況

本事業は昨年度に引き続いての国庫事業で補助金額は2,520千円です。本事業は、県内畜産、生産者自ら飼養衛生管理の向上に取り組もうとしている農場等に対して、指導獣医師等を派遣し指導・支援し、もって、県内における衛生管理の向上に資することを目的とした、飼養衛生管理強化のための農場指導です。

主な事業内容は①指導推進計画の策定、指導チェック表の作成、指導獣医師等の認定、②飼養衛生管理強化推進講習会の開催、③飼養衛生管理強化のための農場指導となっています。農場が指導獣医師等に指導経費を支払った額の1/2（1回2,700円・年間2回まで）を補助する内容です。家保業務の補完的事業で、県及び家保との連携が重要となります。現在、農家の希望が少なくなってきました。県内で口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の発生がないよう、是非、本事業の趣旨を御理解の上、会員の皆様の本事業への御協力方宜しくお願い致します。

3. 「畜産何でも相談」コーナー

平成25年10月5日船橋競馬場で開催されました千葉県畜産フェアでNPOは会員各位の協力を得て「畜産何でも相談」コーナーを設けました。会場参加の畜産農家から経営相談や衛生対策、来場者から「肉」の匂い相談等がありました。日ごろと違った意見交換ができ有意義な一日でした。



（事務局 薫田）

平成25年度千葉県豚共進会

肉豚の部第2類において多古町の内山利之氏が農林水産大臣賞を受賞！
種豚の部では、印西市の五十嵐修氏が名誉賞を受賞いたしました。

平成25年度千葉県豚共進会（肉豚の部）は10月1日（火）～3日（木）旭市の千葉県食肉公社を会場として、また、（種豚の部）は10月30日（水）八街市のJA全農ちば八街家畜市場においてそれぞれ開催されました。

肉豚の部は1類71組142頭、2類17組136頭の出品があり、第1類（2類1組）の名誉賞は、富里市七栄の堀江和広氏の出品豚が、また第2類（8頭1組）の名誉賞は多古町飯笹の内山利之氏の出品豚が受賞されました。

第2類の名誉賞に輝いた内山氏の出品豚は、全頭上物で、比較審査においても斉一性のある枝肉であり、ロース芯のカット面でも肉量、肉質にすぐれていることから農林水産大臣賞を受賞されました。



第1類 名誉賞
富里市 堀江和広氏



第2類 名誉賞
多古町 内山利之氏



種豚の部 名誉賞
印西市 五十嵐修氏

種豚の部は、純粋種19頭、F1繁殖豚が3組6頭の合計25頭の出品がありました。

出品豚の中でも印西市竜腹寺の五十嵐修氏出品のデュロック種は、特に発育が良く、前・中・後躯の移行もなめらかで各部が充実しボリュームのある種豚であることから名誉賞に輝きました。（生産課 金杉）

第40回千葉県種豚オークション結果

	品種	性別	入場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格
純粋種	ランドレース	♀	10	5	62,000	40,000	44,600
		♂	1	1	44,000	44,000	44,000
	デュロック	♀	2	0	-	-	-
		♂	6	2	100,000	74,000	87,000
一代雑種	L・W	♀	16	2	51,000	37,000	44,000
計			35	10	100,000	37,000	

注）セリの価格は消費税抜きの価格です。

購買者5名

販売成立28.6%

平成25年度養豚経営安定対策事業

養豚経営の収益性が悪化した場合に、粗収益と生産コストの差額の8割を補填することにより、養豚経営の安定を図る事業です。

	平均粗収益	生産コスト	差額	補てん金単価
第1四半期	36,238	34,869	1,369	補填なし
第1～2四半期	37,064	35,364	1,700	補填なし

平成25年度肉豚生産安定対策事業（県単独事業）

養豚経営安定対策事業（全国肉豚）において、農家が負担する積立金の一部を助成する事業です。

平成25年度は、1頭当たり70円を年度末に年間の契約頭数に応じ、（公社）千葉県畜産協会等より直接生産者へ交付いたします。（生産課 金杉）

平成25年度予算額

1,076,489頭×70円＝75,354,230円

瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL : www.zenoaq.jp



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第12号



モ〜モ〜フ〜フ〜



コケコッコ〜



千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。

活動記録

1 第7回千葉県畜産フェアで「ミルクくずもち」を実演販売、畜産の魅力をアピール！！



(広くなったイベント会場)

平成25年10月5日(土)、千葉県畜産のPR、県産畜産物や県産食品の消費拡大及び消費者との交流を目的として第7回畜産フェアが開催され、協賛37団体の1つとして畜産レディースは17名の会員の参加があり「ミルクくずもち」を会場内で実演・販売しました。

今回は船橋競馬場の改修も終了し広々とした会場での開催となりましたが、あいにくの小雨模様のためフリーマーケットも小規模となり人出が心配されましたが、ダートフェスタとのコラボ開催等もあり約2,800名の入場者を数えました。畜産レディースのブースにも400名以上の消費者が訪れ、会員の皆さんが心を込めて県産牛乳100%で作った「ミルクくずもち」1皿(3個)100円を買って、更に「くじ引き」で好評の会員提供の手作りのババロア、ミルクプリン、カステラ、フランクフルト、ジャム、羊羹、梅干、味噌、お米等ゲット、参加賞もよかったことから多くの来客がご満悦でありました。

また、会員が中心となって結成された「COWMIX(カウミックス)」がデビューステージを華々しく飾り、畜産レディースの紹介にも華を添えたことから畜産レディースの熱い思いが来場者に十分に届いたことと思います。



(レディーススタッフと森会長)



(COWMIXのライブステージ)

2 「第3回情報交換会in市原」開催される。

平成25年12月3日(火)、市原市農業センター調理室等を会場として、市原市栄養士会・教育委員会等(5名)交え、会員手作りの加工品・試作品等を美味しながら、畜産経営・6次産業化・消費者交流、学校給食の状況等多岐にわたって意見・情報の交換をいたしました。会員等の参加は役員ら6名でしたがなごやかなうちにも熱の入った会合でした。

市原市は幼・小・中学校の給食を1日約2万5千食調理提供していること、材料は市で一括調達しており安全・



(美味しながら情報交換)



(ハム・ソーセージ等)

安心に一番心配りをしており、県・市産品の利用を心掛けているとのことでした。会員からは、ハム・ソーセージ・豚しゃぶ、トン汁、さしみこんにゃく、大根のべったら・甘酢漬、6次産業化に向け試作中の「はちみつ」とのコラボ品(生姜、ゆず、いなり等)、シフォンケーキもありいずれも大好評でした。試作品では参加者から様々な感想・意見が出され大いに参考になったことと思います。

会員だより

『ちば畜産レディースネットワークとの出会い』

東庄町 実川 恵子(養豚)



私が就農してから早9年が経ちました。我が家では昔から農家で野菜や水稻、養豚業を営んでいました。高校卒業後、一般企業に就職しましたが、長女だったので20歳で就農しました。

3年前、香取農業事務所の経営体育成セミナーの総合生だった私は、カリキュラムで意見交換大会に参加しました。その日、須藤陽子さんの発表を聞いて、とても素敵だなと思いご挨拶させて頂いたのをきっかけに、ちば畜産レディースネットワークという活動があることを知りご紹介していただきました。

初めて参加したのは、市原市で行われた消費者の方を招いて行われた情報交換会でした。知らない方ばかりだろうと思い少し不安な気持ちで向かいましたが、行ってみるとみなさんが気さくに話しかけてくださりとても嬉しかったです。皆さんが育てた食材や加工品はどれも凄く美味しく素材の味に感激しました。畜産というカテゴリですが、話をしてみると自分の家とは全く違う経営や仕事内容に驚きました。

神奈川県への視察研修に参加し、伊藤真子さん、須藤由紀乃さんとお話して、『こんな若くて可愛い子も畜産を頑張ってるんだ!』と感銘を受けました。その時に、畜産フェアがあることを知りCOWMIXに参加させていただくことになりました。

畜産フェアまでは思ったより時間も少なく練習など大変な事もありましたが、リーダーの真子ちゃんを筆頭に皆で力を合わせ一つのステージを無事終わらせることが出来ました。ステージ中はレディースの皆さんが盛り上げて下さり、とても心強くパワーをいただきました。

COWMIXに参加して1番良かったことは、より深い繋がりを持ち仲間という大切さを知ったことです。先行きが不安な農業ですが、これから仕事する上で困った時に相談に乗ってくれる仲間がいる事は一生の財産です。

COWMIXのみんな、ちば畜産レディースネットワークの皆さんと出会えて本当に良かったです。

また、今参加している、東の匠SPF豚後継者部会、ちばアグリネットワーク(CAN)、さわらファーマーズクラブ(SFC)、尊農joooooy、その他関係機関の皆様もCDの販売に協力して下さいました。畜産以外の農家さんや友達も自分の事の様に応援してくれて、本当に心強いです。

日々感謝し、自分の生産している東の匠SPF豚や、チバザポーク、チバザビーフ、牛乳、卵、アイス、チーズ、加工品、果樹、野菜、花き、などなど、上質な生産物を消費者の方に知ってもらえるように更に頑張ります。

活動予定

1 農山漁村いきいきフォーラムの開催

千葉県農山漁村女性団体ネットワーク(7団体等)主催による「研修会」が次のとおり開催されます。

会員の皆さんのご参加方、よろしくお願いいたします。(事務局 新城)

日時：平成26年2月12日(水) 午前10時～午後3時

会場：千葉市民会館小ホール 内容：講演、農家川柳コンクール、加工品等の展示即売等

2013年(第7回)千葉県畜産フェア開催



平成25年10月5日(土)、船橋競馬場ふれあい広場に於いて第7回千葉県畜産フェアが千葉県・船橋市の後援、関係団体、出展団体等の協力、また、多数の団体より協賛を頂き盛大に開催されました。

本年度は競馬場内の改修工事が終了し、広々とした会場で行われ、開会式に森会長、千葉県農林水産部長、船橋市長が出席をされ、出展者の方に激励の挨拶を頂きました。あいにくの雨模様でしたが大勢の県民が訪れ、地元松ケ根部屋力士による子供達とのじゃんけん大会、力士による餅つき大会、搾乳体験、骨密度測定、ミルクくずもち、焼肉試食販売等実施され、抽選会場では豪華な景品(牛肉・豚肉等)が漏れなく当たり盛り上がりおりました。

今回、初めてステージを設け千葉県畜産女子グループ「COWMIX(カウミックス)」・船橋市ご当地アイドル「F ACE001(エフエース・ゼロゼロワン)」・お肉応援隊(歌：香蓮、ダンサーズ：バベル)がライブに参加し、会場を大いに盛り上げました。

また、同時開催された第3回ダートフェスタにも多くの参加者が集まり、参加賞としてポークジャーキーを、飛び賞(11位、22位、33位、44位、55位、66位、77位)として県産銘柄豚を提供しました。

今後多くの集客のため同時開催されている団体と連携をし、来場者に県内畜産品の安全・安心等PRする場になるよう進めて行きたいと思います。(企画課 大崎)



じゃんけん大会：力士(若力堂)



餅つき大会：力士(なかぞの)



搾乳体験



卵の販売



COWMIX



F ACE001



お肉応援隊と着ぐるみ



飛び賞のチームへ豚肉を贈呈

平成 2 5 年度「農林水産就業相談会」開かれる



去る 1 1 月 2 3 日の勤労感謝の日に千葉市内の Qiball（きぼーる）にて、これから農業を始めたい、携わりたいという人のための相談会が開かれました。当日は 1 0 5 名が相談に訪れ、先輩新規就農者の体験談や各個別ブースでの就業相談などに臨みました。

畜産協会のブースには 3 組が訪れ、就農の動機を熱く語る一方、県内の畜産事情、就職事情などに熱心に耳を傾けていました。

「林業関係が第一志望だが、酪農にも興味がある。」とブースを訪れた就活中の 2 2 歳の東京都在住の女性、「本格的に農業をやりたい」と北海道での酪農体験を踏まえて、千葉の酪農は北海道とどう違うかなどの質問を投げかけてきた千葉市在住の 5 1 歳男性、また、はるばる福島県から駆け付け、「原発事故等の理由から移住を考えている、野菜をやりながら有畜（繁殖和牛）農業を視野に入れている。」と悩んだ末の胸の内を語ってくれた 3 7 歳男性が相談に訪れました。原発事故の傷の深さを実感した一日でした。（事業部 山田）

肉用牛肥育経営安定特別対策（新マルキン）事業

肥育牛補てん金単価について【平成 2 5 年 1 1 月販売分】

毎月払いが継続して実施されておりますので、引き続き販売報告の漏れがないようお願いします。（企画課 小倉）

1 補てん金単価と算定

（単位：円／頭）

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益 (A)	1,020,236	622,247	356,002
平均生産費 (B)	919,816	639,997	407,787
差額 (C) = (A) - (B)	100,420	17,750	51,785
補てん金単価 (C) × 0.8	-	14,200	41,400

: 100 円未満切り捨て

2 補てん金単価の推移

（単位：円／頭）

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
平成 25 年 10 月	-	40,000	41,700
平成 25 年 9 月	-	53,500	45,500
平成 25 年 8 月	-	62,800	48,600
平成 25 年 7 月	-	65,400	43,200

肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業

標記事業の平成 2 6 年度における基準価格等について以下のとおり改定となります。（生産課 飯沼）

【肉用子牛生産者補給金制度】肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格

（単価：円／頭）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
25 年度	保証基準価格	320,000	292,000	209,000	122,000
	合理化目標価格	273,000	251,000	144,000	86,000
26 年度	保証基準価格	329,000	300,000	215,000	128,000
	合理化目標価格	275,000	253,000	145,000	87,000

【肉用牛繁殖経営支援事業】発動基準

（単価：円／頭）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
発動基準価格	25 年度	410,000	370,000
	26 年度	420,000	380,000

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

「食の安全・安心」のための第 1 歩は、「法令遵守」であることを改めて認識してください。

部 署		TEL	FAX	メールアドレス
総務・企画部	総 務 課	043-242-5417 (代)	043-238-1255	info@chiba.lin.gr.jp
	企 画 課	043-242-6333		ogura@true.ocn.ne.jp
事 業 部	経営・環境課	043-241-1738		okuzumi@swan.ocn.ne.jp
	衛生指導課	043-241-1738		chieishi@aiores.ocn.ne.jp
	生 産 課	043-241-3851		kanasugi@np-chiba.jp
URL http://chiba.lin.gr.jp				